

広報ひこね

10/1



往時の面影を残す中山道の街並み（高宮町）



上原さん（高宮出張所で）

表紙では、「住みたい 住み続けたいまち」彦根の表情を写真で紹介しています。写真をお持ちでない場合は、**困情報政策課**広報係で撮影します。☎22-1411（内線431）へ気軽に連絡してください。

私が高宮に住み始めた30年ほど前、高宮を通る中山道では、自動車の間をぬつように、たくさんの人と自転車が行き交っていました。今から思うと危ないようですが、人も車も少しずつ譲って、事故もなかったように思います。自転車が進路をさえぎって止めてあると、「ちよつとどかしてえな」「こめんね」と声をかけ合う風景が見られました。ゆったりとした、いい時代でした。

往来する人は少なくなりましたが、高宮の風格ある街並みは昔のままです。江戸時代の地図と見比べてもあまり様子が変わっていないように思います。町内の「ふれあいの館」で開催中の「中山道の道標」展は、中山道400周年を記念するものです。歴史ある高宮の街道筋を、私は誇りに思っています。

上原美弥子さん（高宮町）

表紙のことば